

工業「製図」	単位数	2単位
	学科・学年	建築科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 建築科の専門分野の製図について基本から学び、各種構造・用途の建築物の設計製図法に至るまで習得できるよう段階をおって学習する。</p> <p>2 豊かな建築空間を合理的に計画し、設計する能力と態度を育てる。</p>
使用教科書・副教材等	建築設計製図（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1 学期	1 RC造店舗付住宅設計図 (1) 配置図 (2) 平面図 (3) 立面図 (4) 断面図 2 卒業設計プランニング (1) 設計テーマの決定 (2) エスキス・ゾーニング	4	・鉄筋コンクリート構造に必要な構造図を種類とその製図法を理解し、設計への具体化について学ぶ。	
		5	・建築基準法による設計条件を、各図から理解する。	
		6	・鉄筋コンクリート構造の実例にそって、各図の描き方を習得する。	
		7		
2 学期	(3) 平面の計画 (4) 断面の計画 3 卒業設計図面の作成 (1) 平面図の製図 (2) 立面図の製図 (3) 配置図の製図・透視図 (4) 断面図の製図・設計主旨	8	・テーマの設定は、卒業設計の条件のもと、自由な発想で創造性豊かなものになるテーマを設定する。	
		9	・「建築法規」と「建築計画」、「建築構造」など関連性を持って、理解する。	
		10		
		11		
		12		
3 学期	(5) 立面図の製図 (6) 模型または透視図の製作	1	・断面図を基準にして立面図をまとめる。 ・各図の仕上げ表現や寸法の確認を行う。 ・いろいろな素材を活用した創意工夫のある模型または質感のある透視図を製作する。	
		2		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・各分野における手法や基本事項に関心を持ち、意欲的に取り組もうとすると態度があるか。
思考・判断・表現	・各自のテーマに基づいた平面プラン等について、理論的に広い視野で理解できているか。
技 能	・各分野の内容を用途に応じた計画ができるか。また、製図規約に従った的確な表現ができているか。
知 識 ・ 理 解	・各用途に応じた基礎的な知識を身に付け、機能的にまとめることができているか。
<ul style="list-style-type: none"> ・建築製図に関する基本的な知識と技術を総合的に習得させ、いろいろな建築図面を正しく読み、図面を構想し作成する能力を育成し、CADシステムの概要と利用の基礎についても関連させているかを見ます。 ・成績評価は、作品の評価を基本として、上記の4つの観点を含めた授業の諸活動や出席状況などにより総合的に評価する。 ・学年末の成績は、第1学期から3学期の成績をもとに総合的に判断して評価する。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・3年次における建築製図は、一般的な各種構造・用途の建築物の設計製図へと進みます。建築科で学ぶ他の専門科目と関係が深い科目です。 ・卒業設計では、3年間の集大成として各自が設計テーマを設定し、プランニングから完成まで、自分の考えが反映される創造的な科目です。身近にある建築物を観察したり、建築雑誌に目を通すなど、日頃から建築物に興味・関心を持つことが大切です。
